

**研究課題：**小児麻酔の緊急事態に対するシミュレーション教育による麻酔管理能力の向上効果の評価

## 1. 研究の目的

小児の全身麻酔における危機的状況は、小児特有の性質から特に迅速な対応が求められますが、その対応能力を得るための教育として、高機能シミュレーター人形を用いたシミュレーション教育が有効と考えられています。小児麻酔のシミュレーション教育として、世界各国で行われている小児周術期危機管理（the Managing Emergencies in Pediatric Anesthesia：MEPA、以下 MEPA とする）が知られています。当院麻酔科では、2020年度より麻酔科専攻医を対象として MEPA を開催しています。本研究では、MEPA の有無により実際の臨床現場での麻酔管理能力が向上するかを、麻酔関連の危機的偶発症やインシデント報告数を調べることで評価します。

## 2. 研究の方法

人形を用いたシミュレーション教育なので、実際の患者様は対象となりません。

対象は、2019年4月から2021年12月までに当院麻酔科で研修を行った麻酔科専攻医が対象となります。

麻酔管理記録、インシデントレポート報告システムから、麻酔関連の偶発症情報を調べます。MEPA 開始前と開始後の2群の麻酔科専攻医において、麻酔関連の危機的偶発症やインシデント報告数が変化したかを比較し評価します。それまでの小児麻酔経験症例数等で調整した解析も行う予定です。

## 3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から2023年3月まで。

## 4. 研究に用いる資料・情報の種類

麻酔管理記録やインシデントレポート報告システムから、偶発症やインシデントの内容を調べます。実際の患者様の画像等を使用することはありません。

## 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、研究対象者の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

## 6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：麻酔科 医員 櫻井 ともえ

研究分担者：麻酔科 科長 蔵谷 紀文

研究分担者：麻酔科 医長 石田 佐知

研究分担者：麻酔科 医長 大橋 智

研究分担者：麻酔科 医員 藤本 由貴

研究機関：帝京大学大学院

研究分担者：公衆衛生学研究科 講師 鈴木 明日香

## 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年6月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）